

目次

凡例

I 目に見えないもの

理論物理学への道	3
科学と教養	17
科学と教養	17
未来	18
自然と人間	19
物理学に志して	20
理論と実験	21
科学的思考について ——物理学の対象と法則——	23
物理学の前途	41

	独創について——多すぎる情報・刺激・技術——	141
	現代日本に欠けているもの——開拓者精神——	144
	外から見た日本	146
	時間の問題	165
	時間の問題	165
	「科学」に関する思い出	173
	科学と人間の疎隔と接近	176
	物理学の老化と若返り	186
	学問の自由と大学の理念	200
	物質とシンボル	205
	物理と数理	212
	物理と数理	212
	無限分割	217
	基礎物理学とは	220
	基礎物理学研究所について	220
	基礎物理学とは	224
	回顧と展望	232

物理学の前途	41
学術の交流	44
物理学の二十年	46
ノーベル賞を受けて	50
ノーベル賞を受けて	50
若い人々へ	52
暗中模索	63
暗中模索	63
理論物理学の現状	65
理論物理学の現状	65
Ⅱ 近代物理学の成立	
近代における物理学の発達	71
近代における物理学の発達	71
二十世紀物理学史上の天才群	125
二十世紀物理学史上の天才群	125
アインシュタイン博士を追慕して	134
アインシュタイン博士を追慕して	134
Ⅲ 基礎物理学の展開	
独創について	139
独創について	139
理論物理学の伝統について	139
理論物理学の伝統について	139

IV 科学と人間

いま考えていること	237
科学と自然	241
運動と平衡	273
コペルニクスと現代	288
江戸時代の科学者	302
日本の科学の百年	307
———物理学者の視点から———	
長年の疑問	323
解説	329
底本および初出一覧	341